

函館市医療・介護連携推進協議会 令和2年度第2回会議

(書面開催)

【次 第】

1 議 事

○ 報告事項

- (1) 広域連携について (資料1, 資料1-2)

○ 協議事項

- (1) 令和3年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容 (案) について
(資料2, 資料2-2)

【資料】

○顧問・委員名簿

1 広域連携経過概要

1-2 北斗市, 七飯町における医療・介護連携推進事業について

2 令和3年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容 (案)

2-2 令和3年度 多職種連携研修計画 (案)

○記入用紙

函館市医療・介護連携推進協議会 顧問・委員名簿

R3.3.1
(敬称略)

(顧 問)

分 野	所属団体	職 名	氏 名	勤務先
医 療	公益社団法人 函館市医師会	会 長	ホンマ サトシ 本間 哲	医療法人社団 本間眼科医院
	一般社団法人 函館歯科医師会	会 長	サワキ タケシ 澤木 健	澤木歯科医院
	一般社団法人 函館薬剤師会	会 長	クマカワ マサキ 熊川 雅樹	あおい薬局
行 政	函館市病院局	局 長	ウジケ ヨシヒト 氏家 良人	函館市病院局

(委 員)

(敬称略)

分 野	所属団体	職 名	氏 名	勤務先
医 療	公益社団法人 函館市医師会	副会長	オナムラ ヒロキ 恩村 宏樹	医療法人社団 恩村内科医院
	一般社団法人 函館歯科医師会	副会長	イワイ ユウジ 岩井 祐司	戸井歯科診療所
	一般社団法人 函館薬剤師会	常務理事	ミズコシ ヒデミチ 水越 英通	はこだて調剤薬局 昭和店
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	支部長	キタムラ カズヒロ 北村 和宏	社会医療法人 高橋病院
	道南在宅ケア研究会	幹 事	オカダ シンゴ 岡田 晋吾	医療法人社団 守一会 北美原クリニック
	函館地域医療連携実務者協議会	世話人	サキノ テルヒロ 崎野 輝彦	函館市病院局
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	理 事	アラキ ヒデヨ 荒木 英世	函館市病院局
介 護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	会 長	ワタベ ヨシヒト 渡部 良仁	居宅介護支援事業所 アニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	会 長	コスギ あゆみ 小杉 あゆみ	函館市地域包括支援センター神山
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会		テラダ マサヒロ 寺田 昌弘	社会医療法人 仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会		ホサカ アケミ 保坂 明美	株式会社トランドユイット 訪問看護ステーション フレンズ
	道南地区老人福祉施設協議会	会 長	サイトウ タダフミ 齋藤 禎史	介護老人福祉施設シンフォニー
行 政	函館市保健福祉部	部 長	オオイズミ ジン 大泉 潤	函館市

(オブザーバー)

函館市医師会事務局 函館歯科医師会事務局 函館薬剤師会事務局 渡島総合振興局 情報共有ツール有識者

(事務局等)

函館市保健福祉部 市立函館保健所 函館市医療・介護連携支援センター

広域連携経過概要

1 経 過

平成27年から医療・介護連携推進事業に取り組み、平成29年には函館市医療・介護連携支援センターが開設され、函館市内における様々な医療・介護の連携の仕組みを構築してきた一方、他市町においても、それぞれ独自の形で医療・介護の連携を進められてきたところですが、行政区域を超える事案で問題が生じる恐れがあるという問題意識から、行政区域に関わらず医療・介護の連携がスムーズに進むよう令和元年度に函館市医師会から渡島総合振興局に対し広域連携に関する提言が行われました。

その後、渡島圏域の市町へ函館市医療・介護連携支援センターについての説明会が渡島総合振興局において開催されるなどを皮切りとして、各市町においても広域の医療・介護連携推進事業についての更なる協議が進められ、来年度には、北斗市と七飯町の広域連携推進事業として、広域のセンターの設置が予定されています。

また、現在、南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会においても、函館市医師会から提案された事項（南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会が、医療・介護連携推進事業に係る広域連携センター（仮）協議会を兼ねること）について書面協議中であります。

2 北斗市，七飯町における医療・介護連携推進事業概要（資料1－2参照）

3 当協議会の対応

北斗市，七飯町，函館市医師会が取り組む医療・介護連携推進事業について、本市としても、広域連携の一助となるよう協働してまいりたいと考えており、函館市医療・介護連携推進協議会の関係者の皆さまにもこの状況をご了知いただき、各般のご協力をお願いしたいと考えております。

北斗市，七飯町における医療・介護連携推進事業について

1 趣旨

医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう，包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制を構築することを目的としたセンターを設置する。

2 業務内容（予定）

（1）医療・介護連携に関する相談支援

医療・介護関係者および地域住民からの医療・介護連携や在宅医療に関する相談に応じ，必要な情報の提供および助言，その他必要な支援を行う。

（2）切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

入退院支援・日常の療養支援・急変時の対応・看取りなどの様々な局面に関わって，医療・介護の一体的かつ，切れ目のない提供体制の構築のために定めた仕組みやルールを医療・介護関係者に周知し，それらの検証と必要に応じた見直しを行う。

（3）地域の医療・介護の資源の把握

在宅医療および介護に関する事業所ならびに，そのサービス内容などの最新の情報の把握を年1回行うとともに，収集する情報の過不足の検証と必要に応じた見直しを行い，それらの情報を網羅したリストおよびマップを作成し，ホームページに公開する。

（4）医療・介護関係者の情報共有の支援

医療・介護関係者の連携のために作成された情報共有ツールの活用促進を図る。

（5）医療・介護関係者の研修

医療・介護関係者の相互理解と連携強化に資する，関係多職種を対象とした研修の企画・立案・実施する。

（6）地域住民への普及啓発

在宅医療や介護サービス，センター機能の地域住民への普及啓発に関する取り組みとして，講演活動やパンフレット，ホームページ，その他の媒体を活用し周知を行う。

3 スケジュール

（1）センター開設準備 令和3年4月～6月

（2）センター運営開始 令和3年7月～

令和3年度 函館市医療・介護連携支援センター事業内容（案）

事業項目	具体的な内容	協議・取組の所管
ア 地域の医療・介護の資源の把握		
○ ホームページの活用促進および充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民へのホームページ活用方法等の周知 ・医療・介護関係者への周知、データ掲載促進 ・一般市民や専門職を対象としたアンケート調査の実施および分析を行い、新たな掲載項目を検討 ・コラム等にて、認定看護師、栄養ケアステーション、在宅歯科医療連携室スタッフ等の専門職を紹介 	医療・介護連携支援センター
○ 『在宅医療・介護連携マップ』の機能向上	<ul style="list-style-type: none"> ・マップの情報の充実更新（年1回） ・マップデータの広域拡大 	
イ 医療・介護関係者の情報共有の支援		
○ 『はこだて医療・介護連携サマリー』の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・センター主催研修会等にて医療・介護関係者にサマリーの活用方法を周知 ・新規立ち上げ機関（事業所）および団体に所属していない機関（事業所）あてにサマリー等を郵送 	情報共有ツール作業部会
○ 『はこだて医療・介護連携サマリー』のモニタリング、更新	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーについてのアンケート調査を年2回（7月、1月）実施・分析し、部会においてサマリーの更新を検討 	
○ 各種マニュアルの整備・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーQ&Aの充実更新・ホームページに掲載 ・各種マニュアルの更新 ・サマリー修正後、必要に応じて更新 	
○ ICT活用に向けての取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の医療機関や介護事業所の導入事例等の情報収集 ・ICTの活用に向け、部会において課題整理および調査・研究 	
ウ 医療・介護連携に関する相談支援		
○ 総合相談窓口の体制の強化および周知	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援のスキルの向上に繋がる各種研修会への参加（道南医学会、北海道病院学会、相談員研修等） ・窓口の周知、広報活動 ・医療・介護関係機関（事業所）等へのリーフレット配置依頼 	医療・介護連携支援センター
○ 相談対応の標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内相談対応指針、フォーマット等の修正更新（フロー、マニュアル、情報の整理等）および日報管理の機能向上の検討・実施 	
エ 市民への普及啓発		
○ 医療・介護連携支援センターの取り組みに関する周知活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学や町会、老人福祉センターへの出前講座等の実施および各種イベントへの参加 ・センターのリーフレット配布 ・市民公開講座の開催（8月予定） 	医療・介護連携支援センター
オ 医療・介護関係者の研修		
○ 研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相互理解、連携強化、多職種連携の専門性の向上を目的とした各種研修会の企画・実施（詳細は資料2-2を参照） ・人材育成を目的とした各種研修会への教員・学生の参加促進 ・次年度の研修計画素案を作成し、部会で協議・確定 	多職種連携研修作業部会
○ 研修情報の一元化	<ul style="list-style-type: none"> ・各職能団体から研修情報を収集し、ホームページへ掲載（随時） 	
○ 研修会のコーディネート等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が研修開催を希望する場合に講師を紹介する等のコーディネートを実施 	

<p>カ 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築</p>		
<p>○ 入退院支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて入退院支援連携ガイド」のアンケート調査を年1回（12月）実施・分析し分科会において協議 ・センター主催の研修会等において医療・介護関係者へガイドをPR 	<p>退院支援分科会</p>
<p>○ 急変時対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時対応空床情報システムの利用状況を把握し検証を行い、必要に応じて実務者と協議 ・急変時対応システムデータの管理・更新作業（毎週） ・介護施設の急変時対応の現状と課題を把握し、課題解決に向けた研修会等を開催 ・市民および介護関係者への急変時対応シートの周知 ・消防本部との意見交換による急変時対応シートの更新検討 ・『医療・介護合同研修会』の開催 	<p>急変時対応分科会 （急変時対応実務者会議）</p>
<p>○ 看取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設看取りに関する事例報告形式の研修会等の開催を検討 ・在宅看取りに関するアンケート調査から抽出された課題に対し対応策を検討 ・MOPN（南渡島地域包括緩和ケアネットワーク）が開催する講演会等への参加 ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及 	<p>医療・介護連携支援センター</p>
<p>○ 日常の療養支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はこだて療養支援のしおり」のアンケート調査を年1回（12月）実施・分析し分科会において協議 ・センター主催の研修会等において医療・介護関係者へしおりをPR 	<p>退院支援分科会</p>
<p>キ その他</p>		
<p>○ 医療・介護関係者への医療・介護連携支援センターの取り組みの周知（「顔の見える関係」の構築）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護関係者へのセンターの周知 ・他市町の事業の取り組みとの協働 	<p>医療・介護連携支援センター</p>

【令和3年度 多職種連携研修計画】（案）

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
(1) 相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『介護サービスについて（仮）』 講師：未定		動画にて講義	医療関係者 （介護関係者も閲覧可能）	初級～中級		7月頃予定
	『介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）』 講師：医療法人社団函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所 管理者・主任介護支援専門員 宮城 智美 様		動画にて講義	医療関係者 （介護関係者も閲覧可能）	初級～中級		5月頃予定
	② 介護関係者向け研修 『症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事（仮）』 講師：未定		動画にて講義	介護関係者 （医療関係者も閲覧可能）	初級～中級		8月頃予定
	③ オープンカンファレンス	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	随時
	④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認						6月頃
(2) 連携強化	① 看取り ・第7回函館市医療・介護連携多職種研修会 『在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方』	大規模 （国際ホテル）	シンポジウム・GW	医療・介護関係者	中級～上級	200名程度	10月16日（土）
	・施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの事例報告』*各団体との共催	小規模	事例報告形式	介護関係者	中級～上級		未定
	・在宅看取りへの支援 『在宅看取りの事例報告』	小規模	事例報告形式	介護関係者	中級～上級		未定
	② 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・機関との共催、退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模	事例検討・GW	実務者	中級～上級		未定
	③ 急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 『急変時対応研修会』	中規模	パネルディスカッション	医療・介護関係者	中級～上級	100名程度	6月頃
(3) 多職種連携の 専門性の向上	函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度	随時
(4) 人材育成	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内		動画にて講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	数名	随時

※ 新型コロナウイルスの状況等により、研修会の中止および開催時期等が変更となる場合があります。

令和 年 月 日

記入用紙

函館市医療・介護連携推進協議会事務局 あて

TEL：0138-21-3042

FAX：0138-26-5936

Mail：houkatsucare@city.hakodate.hokkaido.jp

○ 令和3年度の事業内容について

(ご意見等)

所属団体名		氏名	
-------	--	----	--

○ご意見等ありましたら、令和3年3月29日(月)までにご返信いただければ幸いです。